

病院経営のための大学院プログラム 5/7、5/21に講演会と入試説明会

医療の高度化・複雑化が進む一方で、それらをいかにマネジメントするかが重要課題になり、病院において“全体最適の視点”を持った経営人材が不可欠となっている。

関西学院大学経営戦略研究科では、病院経営のあるべき姿を体系的に学ぶ医療経営プログラムを2016年4月より本格的にスタートさせた。教員に医療経営分野のトップレベルの研究者と先進的な実務家を集め、理論と実践の統合を目指す。

平日夜間および土日開講で、病院医師、事務職、看護職、医療技術職などの経営管理職やその候補者が対象。入学試験は7月2日(土)、出願期間は6月8日(水)～15日(水)。プログラム開始に先立って講演会と入試説明会を下記のとおり開催する。

- 日時: 第1回 2016年5月7日(土) 16時～18時
第2回 2016年5月21日(土) 18時30分～20時30分
- 場所: 大阪梅田キャンパス1005教室(大阪市北区茶屋町)
- 講演会:
テーマ①「これからの病院経営管理者とMBA教育」
(講師: 明石 純・関西学院大学経営戦略研究科教授)
- テーマ②: 「私のMBA取得と病院での役割変化」
(発表者: 病院の管理監督職の修了生・在校生の体験談)
- ※講演後、入試説明会を開催。
- 問い合わせ: 経営戦略研究科(TEL:0798・54・6572)

関西学院大学博物館 平常展・特集陳列開催中

関西学院大学博物館は、特集陳列「描かれた聖書―渡辺禎雄の版画―」を展示室3で開催している。

聖書の世界を自身の体験や日常生活もとに読みなおし、それを型染版画に表現してきた渡辺禎雄(1913―1996)の作品のイエスの誕生から復活までに関するものを展示している。



《イエスと子ども》渡辺禎雄



関学全景(1917年)

また、平常展として「Gift for the Future 関西学院のあゆみ」をシリーズで開催していく。今回は、「学院創立にかけた情熱」というテーマで、関西学院草創期の25年に焦点を当て、アメリカ・南メソジスト監督教会による日本伝道の始まりから学院の創立や今に受け継がれるスクールモットー“Mastery for Service”のエピソードなどを紹介する。

- ※無料、申込み不要
- 開催期間: 2016年4月1日(金)～5月28日(土)
- 開館時間: 9時30分～16時30分(入館は16:00まで)
- ※日曜日と5月5日(木)は閉館
- 問い合わせ: 関西学院大学博物館(TEL:0798・54・6054)

関西学院大学 バリアフリーマップ 作成活動スタート!



関西学院大学の学生24人が、西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス、神戸三田キャンパスの全キャンパスで「関西学院大学バリアフリーマップ」作成のための活動をスタートさせた。



障がい者の目線になって一つ一つ集めた情報をキャンパスマップに記載して、障がいのある学生がキャンパスでより快適に過ごせるようにしてもらおうのが目的。8月に完成させ、オープンキャンパスでの配布を目指している。

学生は3人一組になり、毎週1回1時間半かけて、正門付近や校舎周辺などの担当エリアを、目隠しをしたり、車椅子に乗ったりした状態で、スロープや段差、点字の有無などをチェックしている。車いすに乗ると、車輪が溝にはまって前に進めなかったり、エレベーターもスペースが十分ないと利用できないことなどを体感したという。バリアフリーマップには、施設環境の情報とともに、通常の地図ではわかりにくい坂や道幅なども考慮した推奨ルートなどを掲載する予定だ。



活動に参加している伊丹聡一朗さん(文学部1年生)は生まれつき足に障がいがあり、車いすを利用している。「まだまだ障害のある人のことが十分理解されていない社会だと感じる。このような活動を通じて、少しでも理解が進んでくれれば嬉しい」と意欲的に取り組む。

目隠しをして歩行した佐伯尚美さん(法学部2年生)は、「とても恐怖を感じた。施設面の改善だけでなく、困っている人がいたら助け合うということが大切だと実感した」と語る。